

経済産業省・沖縄型中小企業魅力発信事業
IT企業
沖縄エジソン見聞録



比嘉 和雄氏

沖縄エジソンの3代目社長
沖縄エジソン 商会から勤務
コンピューター、ソフト開発、メンテナ
ナス、営業と幅広い業務経験を経て現
職に就く。座右の銘は「成せば成る」
昭和25年5月16日生まれ。

高い技術力と強い使命感
トップインタビュー 沖縄エジソン社長

「どの様な経緯で会社を設立になったのか」という問いに、比嘉社長は「大手の企業がやりたがらないようなメンテナナスで勝負をしたい」と語った。1972年に業務をスタートした。商品を開発することを専門とするのではなく、商品としてのメンテナナスを主眼業務としてきた。商品としてのメンテナナスは、商品に利益を生むことは出来なかつたが、技術を開発していき、それが重要となってきた。長期的に使用...」

会社の一押し 24時間保守体制で信頼獲得

沖縄エジソンはITのトータルサポートを行っている会社だ。情報・通信・保守・三本柱とし、ソリューション事業・通信事業・工事やメンテナナス事業を行っている。初めに注目すべき点は、IT(情報・通信)の保守を24時間365日のサポート体制で創業以来、39年間守り続けていることだ。



左から総務部長 宜保豊氏 ソリューション事業部長 金城和美氏 工事部取締役次長 新川寛氏

社員全員がプログラムの設定ができるので営業先で専門知識をもって課題解決が出来る。このように、沖縄エジソンはIT機器の導入から工事保守、システム開発までITに関わるすべてを行い、お客様の信頼と共に進化と向上を続け、新しい技術に挑戦し続ける企業である。

「経済産業省の沖縄型中小企業魅力発信事業」の第二期チームは2019年9月15日、ITのトータルサポートを行う那覇市の株式会社沖縄エジソンを訪ねた。ITを駆使した技術力やサポート体制、仕事の様子ややりがいなどを社長 各部署の代表から聞いた。

■紹介する企業
株式会社 沖縄エジソン
(那覇市真地)
設立年 1972年
代表者名 比嘉 和雄 男性 73名
従業員数 女性 13名
合計 86名 (平成28年4月現在)
資本金 26,856,000円

<経営理念>
1.情報システムと通信システムをトータルにサポートし、優れた製品と迅速なサービスを提供する企業を目指す。
2.顧客の繁栄と全社員の物心両面の幸せを追求し、地域社会の進歩発展に貢献する。
3. 原理原則に基づき仕事を行い、公正正大に利益を追求する。
<事業内容>
コンピューター及び周辺機器の販売、ソフト開発、LAN構築、CSSシステム、ホテルシステム構築並びに保守電気工事、情報通信設備、消防設備、病院設備の建設
事業事務局
(株)オーシャントゥエンティワン
協力団体
沖縄タイムス 社

えび、ソファアがぼろぼろになっていたら変えますし、給料が低いといわれても、きちんとした理由、を保持していきたくて、きちんと見合った給料にしています。きちんとした理由の例として会社が貢献している実績や成長性を表すようなもの。...」

一人二人の力を最大活用

各部の代表4人から話を聞いた。「お客様の望むシステムを導入し、工事を終えた後に感謝される時が一番嬉しい」と話すのは入社歴20年になる通信事業部営業課の高原安治課長。その中で、「お客様の依頼に単純に応えるのではなく、一緒に不安を取り除いていくように心掛けていく」とも。毎回これらの過程を通して、工事は、仕事の依頼を受け実際に現場で仕事を担当する部署。新川寛次氏は「従業員の体調管理には常に気を遣っている。自分の部下が日に日に上達、成長していくのを見ているのがすごく楽しく、そのために頑張れる。従業員は「会社の財産」。お客様にもっともらないが、すべての従業員への感謝の気持ちは忘れない」と話した。また「取材した従業員の話から共通する点は「自分の人生を後悔しないように生きること。その上で問題や課題を解決していくことが、やりがいにつながっていく」とアドバイスした。

学生編集後記



琉球大学3年次 伊良皆 裕之
「私が今回の取材を通して一番感動させられた言葉の一つは「信頼」でした。私は今まで信頼を得るような仕事のやり方をとることが仕事相手との信頼を築いていくのだと思っていました。しかし、今回沖縄エジソンを取材させていただき、時間を守る、お客様のところへ頻りに行くという小さなことを真面目に行うことにより自然とお互いの中から「信頼」が生まれてくるのではないかと感じました。

沖縄国際大学3年次 吉田 祥平
「仕事にはドラマがある。」と、社員の方が話していた言葉が印象に残っています。なぜなら私は「仕事とは結果を出すこと。それをごこなすこと」と思っていました。今回の取材を通して、技術力を武器にお客様にサービスを提供し、会社に誇りを持って働いている姿に感銘を受けました。仕事のやりがいや醍醐味は結果を出すまでの過程にあり、厳しい事が多いほど、成長していくのだと思いました。

琉球大学4年次 玉城 仁美
「最後に、社長として学生へのメッセージをお願いします。沖縄県では卒業後の選択肢に進学し就職、何もしないという選択肢を選ばないでください。君たちには「できる可能性」がたくさんあるのだからそのことに自信を持って生きてほしい。」

Action helps your wonderful futurE
ITから創り出そう、未来のオキナワ。
株式会社 沖縄エジソン